

令和5年度第6回ヨコハマeアンケート 公共施設の利用実態に関するアンケート

実施期間 令和5年6月23日（金）から7月3日（月）

事業所管課 財政局 ファシリティマネジメント推進課

回答者数 1,450人（回答率：30.0%）

【参考】eアンケートメンバー数 4,831人（6月23日時点）

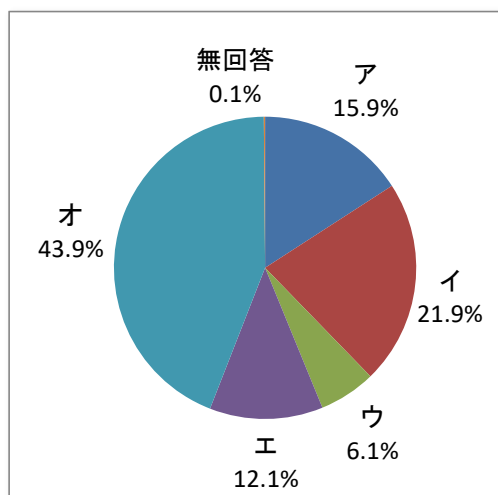
年代別、横浜市内在住・在勤・在学別の回答者構成比

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	計
横浜市内在住	3 (0.2%)	19 (1.3%)	113 (7.8%)	240 (16.6%)	424 (29.2%)	351 (24.2%)	289 (19.9%)	1,439 (99.2%)
横浜市内在勤	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	1 (0.1%)	1 (0.1%)	5 (0.3%)	1 (0.1%)	9 (0.6%)
横浜市内在学	1 (0.1%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.1%)
計	4 (0.3%)	20 (1.4%)	114 (7.9%)	241 (16.6%)	425 (29.3%)	356 (24.6%)	290 (20.0%)	1,450 (100.0%)

Q1 次の公共施設で、最もよく利用するものを1つ選択してください。
 < ア～エを選択した方はQ2にお進みください。 >
 （単一選択）

n = 1,450

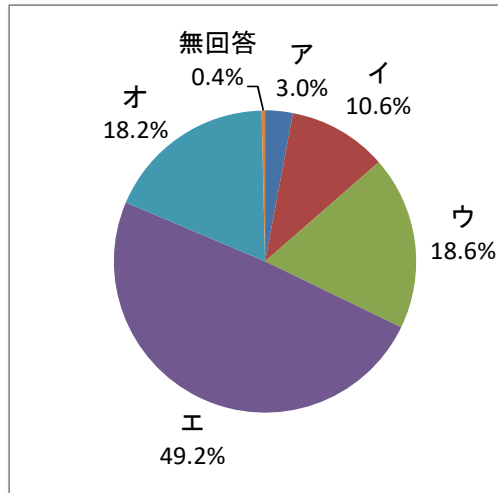
ア	ホール系の公共施設(公会堂・区民文化センター・市民プラザ等) (Q2へ)	15.9%	230
イ	コミュニティ系の公共施設(地区センター・コミュニティハウス等) (Q2へ)	21.9%	317
ウ	福祉系の公共施設(地域ケアプラザ・老人福祉センター等) (Q2へ)	6.1%	88
エ	スポーツ系の公共施設(スポーツセンター・屋内外プール・体育館等) (Q2へ)	12.1%	176
オ	上記に該当する施設は利用していない (Q14～16へ)	43.9%	637
無回答		0.1%	2
		100.0%	1,450



Q2 本市のホール系の公共施設をどの頻度で利用していましたか。
 コロナ禍以前の数年間の利用状況を含め、回答を選択してください。(コロナ禍に施設利用を中断していた場合、コロナ禍以前の利用状況を回答してください。以降の設問も同様です。)
 【ホール系の公共施設：公会堂、区民文化センター、市民プラザ等】
 (単一選択)

n = 811

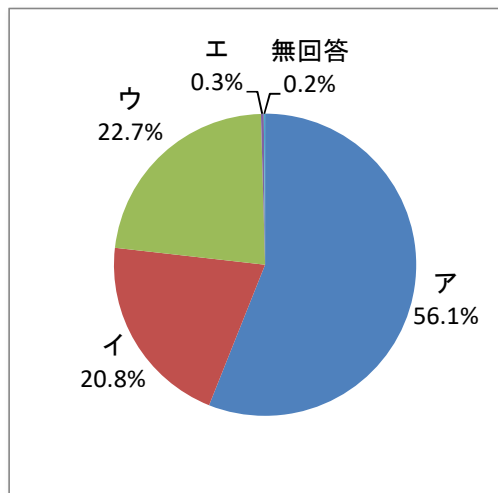
ア	週に2回以上 (Q3~5へ)	3.0%	24
イ	週に1回程度 (Q3~5へ)	10.6%	86
ウ	月に1回程度 (Q3~5へ)	18.6%	151
エ	年に数回程度 (Q3~5へ)	49.2%	399
オ	利用していない(Q5へ)	18.2%	148
無回答		0.4%	3
		100.0%	811



Q3 Q2で「ア~エ」を選択した方にお聞きします。
 利用したホール系の公共施設はお住まいの区にある施設ですか。
 (単一選択)

n = 660

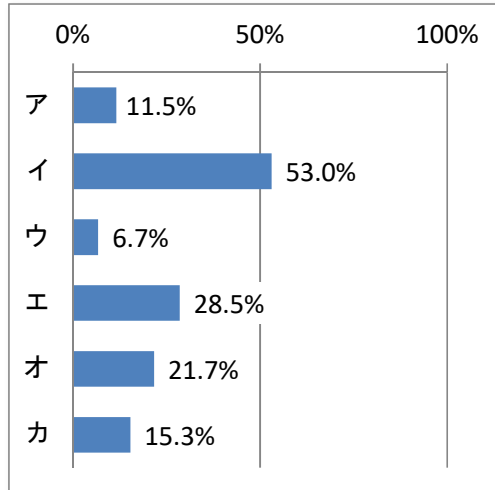
ア	お住まいの区にある施設を利用した	56.1%	370
イ	お住まいの区以外の施設を利用した	20.8%	137
ウ	両方利用した(お住まいの区にある施設もお住まいの区以外の施設も利用した)	22.7%	150
エ	市内在勤もしくは在学(本市以外に在住)で、本市の施設を利用した	0.3%	2
無回答		0.2%	1
		100.0%	660



Q4 Q2で「ア～エ」を選択した方にお聞きします。
 利用した内容を教えてください。
 (複数選択可)

n = 660

ア	公演・イベント等(主催者・出演者として)	11.5%	76
イ	公演・イベント等(観客・参加者として)	53.0%	350
ウ	講座・ワークショップ等(主催者・出演者として)	6.7%	44
エ	講座・ワークショップ等(観客・参加者として)	28.5%	188
オ	ミーティング・打合せ・会議等	21.7%	143
カ	その他	15.3%	101



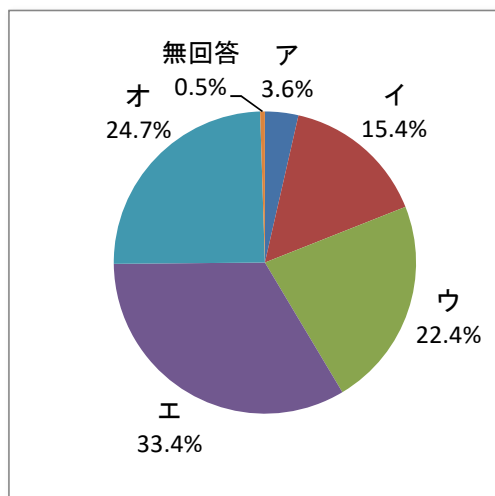
その他(抜粋)

- 確定申告期無料相談会
- イベント等の情報収集

Q5 本市のコミュニティ系の公共施設をどの頻度で利用していましたか。
 コロナ禍以前の数年間の利用状況を含め、回答を選択してください。
 【コミュニティ系の公共施設:地区センター、コミュニティハウス 等】
 (単一選択)

n = 811

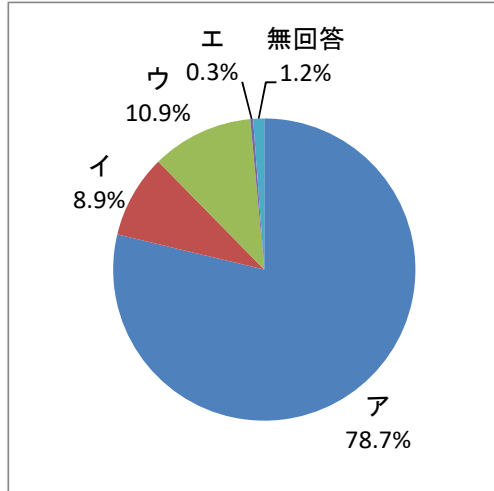
ア	週に2回以上 (Q6～8へ)	3.6%	29
イ	週に1回程度 (Q6～8へ)	15.4%	125
ウ	月に1回程度 (Q6～8へ)	22.4%	182
エ	年に数回程度 (Q6～8へ)	33.4%	271
オ	利用していない(Q8へ)	24.7%	200
無回答		0.5%	4
		100.0%	811



Q6 Q5で「ア～エ」を選択した方にお聞きします。
 利用したコミュニティ系の公共施設はお住まいの区及びお住まいに隣接する区にある施設ですか。
 (単一選択)

n = 607

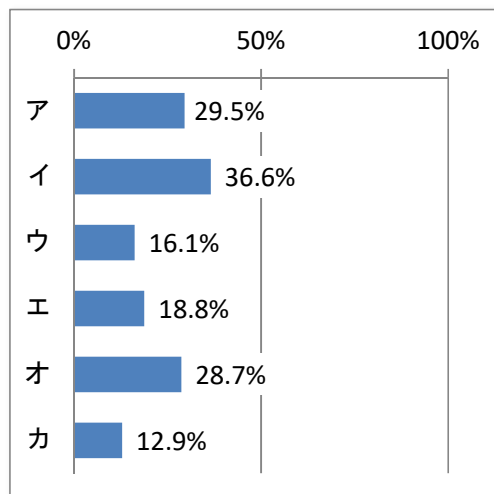
ア	お住まいの区及びお住まいに隣接する区にある施設を利用した	78.7%	478
イ	お住まいの区及びお住まいに隣接する区以外の施設を利用した	8.9%	54
ウ	ア・イの施設の両方とも利用した	10.9%	66
エ	市内在勤もしくは在学(本市以外に在住)で、本市の施設を利用した	0.3%	2
無回答		1.2%	7
		100.0%	607



Q7 Q5で「ア～エ」を選択した方にお聞きします。
 利用した内容を教えてください。
 (複数選択可)

n = 607

ア	ミーティング・打合せ・会議	29.5%	179
イ	イベント・カルチャー教室	36.6%	222
ウ	ロビー等のフリースペースでくつろぐ・談笑・勉強	16.1%	98
エ	運動・スポーツ・ダンス等	18.8%	114
オ	趣味・サークル・ボランティア活動	28.7%	174
カ	その他	12.9%	78



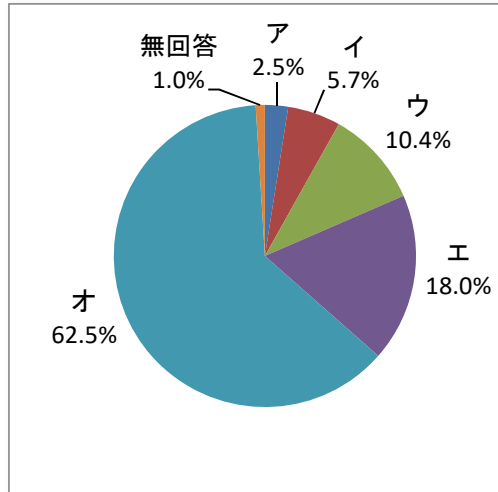
その他(抜粋)

図書の利用
キッズコーナーの利用

Q8 本市の福祉系の公共施設をどの頻度で利用していましたか？
 コロナ禍以前の数年間の利用状況を含め、回答を選択してください。
 【福祉系の公共施設：地域ケアプラザ、老人福祉センター等】
 (単一選択)

n = 811

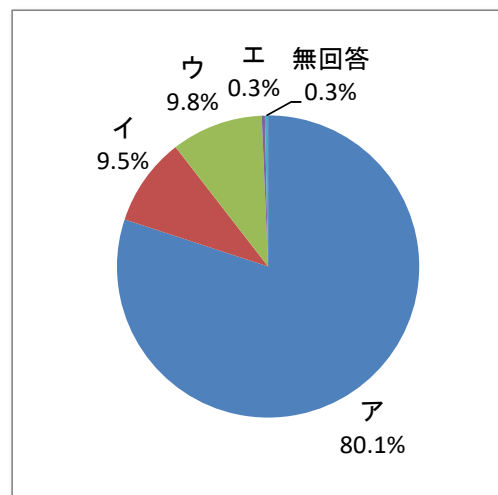
ア	週に2回以上 (Q9~11へ)	2.5%	20
イ	週に1回程度 (Q9~11へ)	5.7%	46
ウ	月に1回程度 (Q9~11へ)	10.4%	84
エ	年に数回程度 (Q9~11へ)	18.0%	146
オ	利用していない(Q11へ)	62.5%	507
無回答		1.0%	8
		100.0%	811



Q9 Q8で「ア～エ」を選択した方にお聞きします。
 利用した福祉系の公共施設はお住まいの区及びお住まいに隣接する区にある施設ですか。
 (単一選択)

n = 296

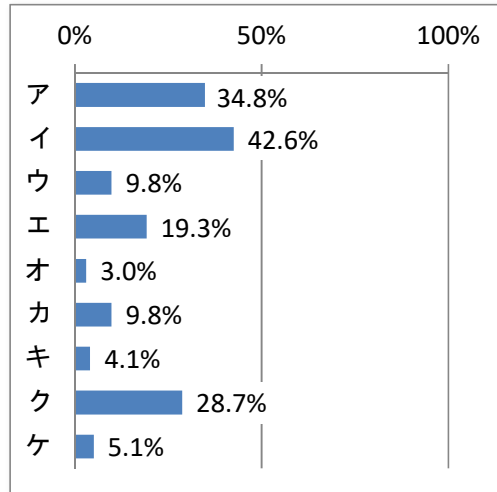
ア	お住まいの区及びお住まいに隣接する区にある施設を利用した	80.1%	237
イ	お住まいの区及びお住まいに隣接する区以外の施設を利用した	9.5%	28
ウ	ア・イの施設の両方とも利用した	9.8%	29
エ	市内在勤もしくは在学(本市以外に在住)で、本市の施設を利用した	0.3%	1
無回答		0.3%	1
		100.0%	296



Q10 Q8で「ア～エ」を選択した方にお聞きします。
 利用した内容を教えてください。
 (複数選択可)

n = 296

ア	ミーティング・打合せ・会議	34.8%	103
イ	イベント・催し物	42.6%	126
ウ	ロビー等のフリースペースでくつろぐ・談笑・勉強	9.8%	29
エ	運動・体操・リハビリ	19.3%	57
オ	余暇(入浴、カラオケ、囲碁・将棋 等)	3.0%	9
カ	福祉関係(介護保険や障害サービス等)の相談・介護保険の手続き	9.8%	29
キ	福祉・保健サービス(高齢者デイサービス等)の利用	4.1%	12
ク	趣味・サークル・ボランティア活動	28.7%	85
ケ	その他	5.1%	15



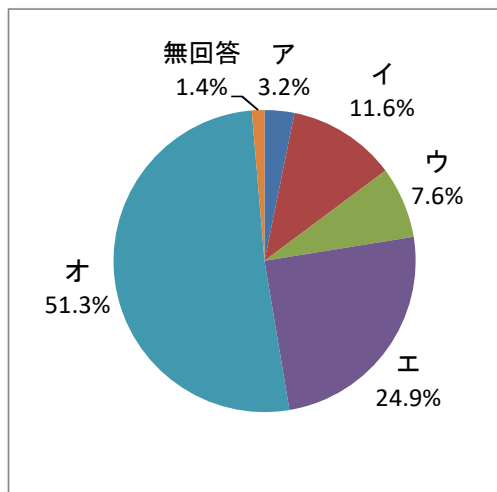
その他(抜粋)

子育て支援

Q11 本市のスポーツ系の公共施設をどの頻度で利用していましたか？
 コロナ禍以前の数年間の利用状況を含め、回答を選択してください。
 【スポーツ系の公共施設:スポーツセンター、屋内プール、屋外プール、その他屋内施設(スポーツ会館、体育館等)、その他屋外施設】
 (単一選択)

n = 811

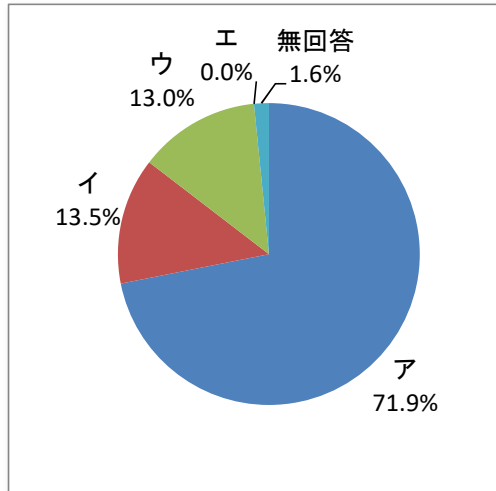
ア	週に2回以上 (Q12、13へ)	3.2%	26
イ	週に1回程度 (Q12、13へ)	11.6%	94
ウ	月に1回程度 (Q12、13へ)	7.6%	62
エ	年に数回程度 (Q12、13へ)	24.9%	202
オ	利用していない(Q13へ)	51.3%	416
無回答		1.4%	11
		100.0%	811



Q12 Q11で「ア～エ」を選択した方にお聞きします。
 利用したスポーツ系の公共施設はお住まいの区及びお住まいに隣接する区にある施設ですか。
 (単一選択)

n = 384

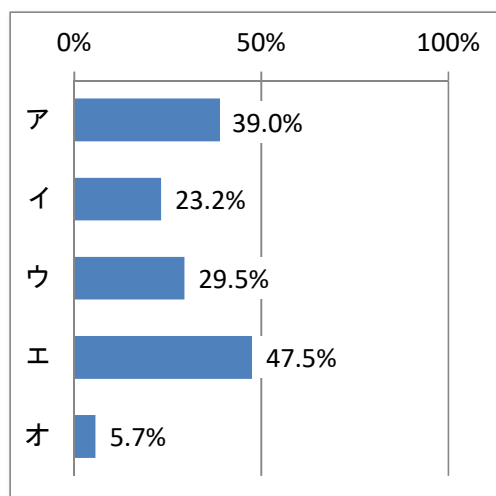
ア	お住まいの区及びお住まいに隣接する区にある施設を利用した	71.9%	276
イ	お住まいの区及びお住まいに隣接する区以外の施設を利用した	13.5%	52
ウ	ア・イの施設の両方とも利用した	13.0%	50
エ	市内在勤もしくは在学(本市以外に在住)で、本市の施設を利用した	0.0%	0
無回答		1.6%	6
		100.0%	384



Q13 Q1で「ア～エ」を選択した方にお聞きします。
 人口減少、自然災害の増加、脱炭素社会、DXの推進など社会背景が常に変化していくなかで、将来にわたって公共施設が提供するサービスを維持していくため、社会情勢に見合った水準に「公共施設を適正化」していく必要がありますが、どのような対策を優先的に行うべきと考えますか。
 公共施設の適正化については、「横浜市公共施設等総合管理計画」第3章をご覧ください。
https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/zaisei/fmsuishin/facility-management/minna/sogokanri.files/0008_20221226.pdf
 (複数選択可)

n = 811

ア	施設の民間移管、公民連携(PFI、ネーミングライツ等)の推進等 (Q16へ)	39.0%	316
イ	公共施設の集約や統廃合、ダウンサイジング(規模の縮減)等 (Q16へ)	23.2%	188
ウ	施設利用料の見直し、または無料で利用できる施設を有料化 (Q16へ)	29.5%	239
エ	リノベーション(機能向上を伴う改修)等による更なる長寿命化の推進(Q16へ)	47.5%	385
オ	その他(Q16へ)	5.7%	46



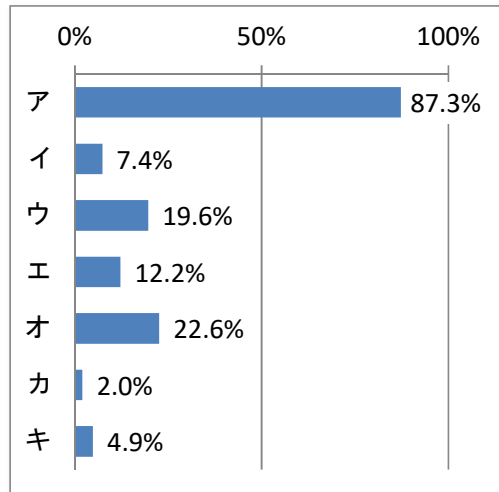
その他(抜粋)

特に問題を感じていません。
利用率を上げる工夫が必要。スペースが遊んでいる。
利用頻度の低い施設やサービスをやめる。
経費云々も大切だが、今後自然災害により被災者が多数でた場合に備え、公共施設を避難所として十分対応できるよう保険として維持すべき。

Q14 Q1で「オ」を選択した方にお聞きします。
 利用していない理由を教えてください。
 (複数選択可)

n = 637

ア	利用する機会がないため	87.3%	556
イ	民間の類似施設を利用しているため	7.4%	47
ウ	アクセスが不便なため	19.6%	125
エ	利用時間が合わないため	12.2%	78
オ	機能やサービスが求めているものではないため	22.6%	144
カ	近隣の他都市の公共施設を利用しているため	2.0%	13
キ	その他	4.9%	31



その他(抜粋)

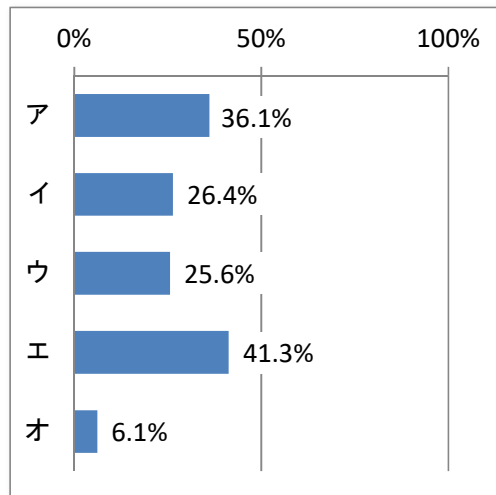
どの様な施設や機能があるか知らない
なんとなく高齢者向けというイメージがある
会議室を利用したいが、手続きが面倒

Q15 Q1で「オ」を選択した方にお聞きします。
 人口減少、自然災害の増加、脱炭素社会、DXの推進など社会背景が常に変化していくなかで、将来にわたって公共施設が提供するサービスを維持していくため、社会情勢に見合った水準に「公共施設を適正化」していく必要がありますが、どのような対策を優先的に行うべきと考えますか。

公共施設の適正化については、「横浜市公共施設等総合管理計画」第3章をご覧ください。
https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/zaisei/fmsuishin/facility-management/minna/sogokanri.files/0008_20221226.pdf
 (複数選択可)

n = 637

ア	施設の民間移管、公民連携(PFI、ネーミングライツ等)の推進等	36.1%	230
イ	公共施設の集約や統廃合、ダウンサイジング(規模の縮減)等	26.4%	168
ウ	施設利用料の見直し、または無料で利用できる施設を有料化等	25.6%	163
エ	リノベーション(機能向上を伴う改修)等による更なる長寿命化の推進等	41.3%	263
オ	その他	6.1%	39



その他(抜粋)

子育てに特化して、親子連れ、または子供のみで利用できる施設など、利用年齢を限定した施設の拡充が求められます。

そもそも利用しやすい場所に、公共施設がない。

高齢者が多くなりますので、高齢者が地域で活動し、活躍することを基軸の1つにした公的施設の今後のあり方が、必須ではと感じます。

Q16 全員にお聞きします。
 将来にわたって公共施設が提供するサービスを維持していくため、社会情勢に見合った水準への「公共施設の適正化」に向け、ご提案などがありましたらご記入ください。
 (自由意見)

(抜粋)

社会変遷に伴う必要性や利用状況を鑑み、統廃合整理をして行くのも公平な適正化施策だと考えます。

継続のためにある程度サービス等を絞るのはやむを得ないが、公共施設が提供するものは「採算がとれないが必要なもの」であるはずで、民間移管とは根本的に相容れないと思われる。利用料の見直しや有料化という手段をとっても、公共でサービスを担い続けられる仕組みが大切だと考える。

高齢化が進む世の中ではありますが、将来を支えるのは若者や子供たちです。公共施設のターゲット層を間違えないで欲しいと思います。

民間の施設と機能を同じにするモノについては、廃止及び機能の縮小等を考えるべき。

ベースラインとして少額でもお金はきちんと取って運営するべき。利用量の見える化や責任の明確化に繋がるので。その上で、子供は無料だったり、市民DAYなどのサービスをすれば良いと思う。

利用者にかたより(決まった人しか利用しない)がみられるため、誰もが利用しやすい施設にする。

公民連携に賛成しますが、主に地方都市での施設の運用トラブルのニュースを目にします。チェック機能が働いていなかったり、ルールそのものが実態に則していないなど原因は様々ですが柔軟な対応で費用バランスを取り、持続可能な施設の運営ができることを望みます。

インフラとして、維持整備していくことが大事だと思います。使われないから縮小する、有料化する、という方向はあまり考えてほしくはありません。